

# 医療的ケア児を 地域で支えよう

医療的ケア児ってどんなお子さんなのかな…?  
地域の資源ってどんなものがあるのだろう…?  
退院はどのように進めていくのだろう…?  
おうちではどのように過ごしているの…?



現在、日本の小児医療は世界1位と言われています。新生児救命の進歩で、助かる命が増えています。

人工呼吸器を装着して在宅で過ごすお子さんは11年で約10倍、医療的ケアを必要とするお子さんは、10年で2倍となりました。

医療的ケア児が地域で安心して過ごすためには、医療・福祉・子育て支援・保健・教育等の多職種連携が不可欠になっております。まずは、医療的ケア児の在宅生活について知ってみましょう!富山県ではどんな取り組みを行っているのか、国内外の医療的ケア児の現状はどのようなか…。ぜひお気軽にご参加ください。

参加費 ¥1000 (学生:無料)※昼食は持参ください。

第1回 平成31年1月26日(土) 10:00~18:00 会場:高岡市ふれあい福祉センター

医療機関からの在宅支援について

富山大学病院での退院支援の取り組み

富山大学附属病 看護師長 北林 正子 氏  
副看護師長 土田 悦子 氏

医療的ケア児のリハビリテーション

呼吸ケアや成長・発達に必要なこと

社会福祉法人くるみ

理学療法士 松田 瞳

19:00~ 別会場「くるみの森」にて、交流会を実施予定です。意見交換や情報共有の場にしましょう。

場所 高岡市佐野 548-2 TEL 0766-54-5703

※ご移動は各自となります。お食事をご用意させていただきます。ぜひご参加ください。

第2回 平成31年2月9日(土) 9:30~17:30 会場:高岡市ふれあい福祉センター

在宅生活を支える相談支援制度や

障害福祉制度について

富山県障害福祉課

地域生活支援係長 高田 篤史 氏

「ライフステージを見通した個別の教育支援計画」

に基づいた教育の視点

富山県総合教育センター

教育相談部 近江 幸人 氏

国内外の先進事例

ハード機能・事業内容・運営方法・職種・制度の観点から  
日本財団 公益事業部

国内開発事業チーム 中嶋 弓子 氏

くるみの森の居宅介護の事例や医療的ケア

デイサービスでの保育士の関わり、支援の実際

社会福祉法人くるみ

社会福祉士 坂下 嘉之

保育士 橘 貴代

看護師 竹田 りえ

会場

高岡市ふれあい福祉センター

高岡市博労本町 4-1

0766-21-7888

申し込みフォーム:<https://goo.gl/forms/.vDBXEm7lv8AjqrJnI>



申し込みは上記フォームよりお願いいたします。くるみの森 FB や HP の新着情報にも掲載しております。

OHP:<https://kuruminomori-963.com> OFB はくるみの森で検索するとあります。

下記のメールや電話でも受け付けております。研修名をお伝えください。

お問い合わせ先



社会福祉法人くるみ 高岡市佐野 548-2

TEL 0766-54-5703 FAX 0766-54-5704

MAIL [info@kuruminomori-963.com](mailto:info@kuruminomori-963.com)

くるみの森 HP

